

第二次聖学院教育会議第3回会同開催

法人本部

8月5日（火）・6日（水）の二日間にわたって理事会合宿が行われ、初日の5日に第二次聖学院教育会議第3回会同が開催された。理事、教職員、PTA、後援会、同窓会など120名（内本部職員30名）が参加して、「よみがえるミッション聖学院～教育指導の新しい取り組み～」の主題のもと、各校の取り組みについて活発な議論が交わされた。

菊地順大学人文学部チャプレンの司式で開会礼拝がもたれた後、作田明大学客員教授による講演「大量殺傷事件についての考察」、平山正実大学院教授・カウンセリングセンター長による講演「『日本社会の構造変化をどのように教育に活かすか』－最近の事例を念頭に置きつつ検討する」が行われた。講演を受けて各校からの発題者がキリスト教学校として社会や家庭、子どもの変化にどのように対応しているのかについて、報告と問題提起がなされた。

その後、園長・校長・学長・総務局長・小倉義明聖学院長の総括があり、最後に「第二次聖学院教育会議第3回会同宣言文」が出席者一同によって採択された。高橋恵一郎女子聖学院チャプレンの司式で閉会礼拝をささげ、午後4時過ぎに終了した。

（教育会議の詳細は、報告書（9／30発行）をご覧ください。）



聖学院教育会議第3回会同当日の様子